

「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機関名	大阪大学	整理番号	L02
プログラム名称	未来共生イノベーター博士課程プログラム		
プログラム責任者	星野 俊也	プログラム コーディネーター	志水 宏吉

◇博士課程教育リーディングプログラム委員会における評価（公表用）

【総括評価】

一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

【コメント】

リーダーを養成する学位プログラムの確立については、リーダーが持つべき対応力を養うべく用意されている各種のフィールドワークが、いずれも良く準備がなされ、充実している点は評価できるが、養成すべき未来共生イノベーターの理念や人材像は明らかとは言い難く、より一層の明確化が望まれる。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性については、分野の特徴として、容易にキャリアパスにつながらないことは理解できるものの、将来の具体的な構想ができていない学生や、キャリアパスに不安を持つ学生が多数見受けられることから、学生に対するサポートについて更なる努力が求められる。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、ローカルな場面での多文化共生の問題を中心に教育がなされているが、具体的かつ深みのある問題を素材として取り上げ表面的な実習にとどまらない指導が行われており、計画を超えた成果が期待できる。

優秀な学生の獲得については、応募者数が多く、分野の偏りもないため、計画どおりにできていると判断できる。

世界に通用する確かな学位の質保証システムについては、問題点の指摘に迅速に対応して教育プログラムの充実・改善が図られているほか、英語の習得能力を確実に評価する方法も整備していると判断できる。

事業の定着・発展については、人間科学研究科改組に伴い、人間科学専攻に新たに開設される共生学系にて主専攻として継続するとのことであるが、具体的な中身が明瞭でない。副専攻としての意義は大いに認められる一方、主専攻としての共生学の意義や中身が十分検討されていないため、今後一層の努力が求められる。

総評として、高く評価できる点もある一方、改善すべき点もあることから、今後の努力が求められる。